

自動車	
午前八時	四〇七
正午	三七一
午後四時	三八三
	五九四
	二一一
	一三九
	一三七

以上

別記

スト情報

第十三報

九月十一日午後六時

争議本部書記局

一万二千全従業員の一兆九百九十九万九千九百九十九人まで連続一週間——これは我が市電に於ては其の統制に於て又スト期間に於ても既に新たなる記録である。我々の斗争が殊にストが第三者に重大なる關係を有するたため社会的輿論の向背が可成り斗争の勝敗に對して影響する。従つて我々は社会的輿論の好悪支持に對しては極力努力しなげればならぬ。然し乍ら我々は社会的輿論の好悪支持に對しては誤りであり、他力本願より自力により勝利を確保する決意を一層固めねばならぬ。社会輿論がよいからと油断し緊張を欠くが如きことありとすれば絶対に慎重をねばならぬ。斗争の戦術が廣汎なる輿論を對象とするが故に凡ゆる方法に小づて行はれるうちはあるけれども、要は我々自身の斗争力の如何が勝敗を決定するものであることと強く自覺し、全争議団員諸君は一段と決意を強くし、一万二千の強固なる結集によつて勝利を得べく斗争を押し進めねばならぬ。今日我々の環境は非常によいのであつてはあつたとしても、我々は今後如何なる彈圧デマの中にも暴案撤回は断乎ストを継続しなげねばならぬので全争議団員諸君が一層の緊張と決意を要望するものである。

▲大阪市電自働執行委員長石原猪藏氏は應援金を持つて上京月執行委員赤井氏と直に藤城田廻りに出動激勸慰問の活動を開始した。

▲神戸市に於ける金澤竹田氏は一斉に奮起協同會を開き徹底的な応援を決

▲定暴案撤回を市電局に迫るべく代表者三名上京することを決定した。

▲尚市内各所に應援演説會を開催することを決定した。